

(別添2-1)

福祉用具専門相談員講習課程

(講習事業名：)

科目名	内容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	
〈講義〉 (1) 福祉用具の役割 (時間)	○福祉用具の定義と種類 ○福祉用具の役割 ○福祉用具の利用場面
〈講義〉 (2) 福祉用具専門相談員の役割と 職業倫理 (時間)	○介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付け と役割 ○福祉用具専門相談員の仕事内容 ○職業倫理
2 介護保険制度等に関する基礎知識	
〈講義〉 (1) 介護保険制度等の考え方と仕 組み (時間)	○介護保険制度等の目的と仕組み ○地域包括ケアの考え方
〈講義〉 (2) 介護サービスにおける視点 (時間)	○人権と尊厳の保持 ○ケアマネジメントの考え方
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識	
〈講義〉 (1) からだとこころの理解 (時間)	○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 ○認知症の理解と対応
〈講義〉 (2) リハビリテーション (時間)	○リハビリテーションの基礎知識 ○リハビリテーションにおける福祉用具の役割
〈講義〉 (3) 高齢者の日常生活の理解 (時間)	○日常生活について ○基本的動作や日常生活動作 (ADL) の考え方
〈講義〉 (4) 介護技術 (時間)	○日常生活動作 (ADL) における基本的な介護技術
〈講義〉 (5) 住環境と住宅改修 (時間)	○高齢者の住まい ○住環境の整備 ○介護保険制度における住宅改修

4 個別の福祉用具に関する知識・技術		
〈講義〉	(1) 福祉用具の特徴 (時間)	○福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた福祉用具の特徴
〈演習〉	(2) 福祉用具の活用 (時間)	○各福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた福祉用具の利用方法
5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識		
〈講義〉	(1) 福祉用具の供給の仕組み (時間)	○福祉用具の供給の流れ ○福祉用具の整備方法
〈講義〉	(2) 福祉用具貸与計画等の意義と活用 (時間)	○福祉用具による支援の手順の考え方 ○福祉用具貸与計画等の意義と目的 ○福祉用具貸与計画等の記載内容 ○福祉用具貸与計画等の活用方法 ○モニタリングの意義と方法
6 福祉用具の利用の支援に関する総合演習		
〈演習〉	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成 (時間)	○事例演習
合 計		(時間)

※ 「3 (1) からだとこころの理解」、「3 (4) 介護技術」、「4 (1) 福祉用具の特徴」、「4 (2) 福祉用具の活用」、「5 (2) 福祉用具貸与計画等の意義と活用」の科目については、内容を分けて講義・演習を行うことができるものとする。内容を分けた場合の時間数については、30分を下限として設定すること。
その際には、枝番を付番することとし、内容欄に枝番ごとの内容及び時間数を記載すること。

記載例

(別添2-1)

科目ごとの時間は、記載された時間数を下回ること
はできない。

福祉用具専門相談員講習課程

(講習事業名：○○○○○○○)

科 目		内 容
1 福祉用具と福祉用具専門相談員の役割		
〈講義〉	(1) 福祉用具の役割 (1時間)	○福祉用具の定義と種類 ○福祉用具の役割 ○福祉用具の利用場面
〈講義〉	(2) 福祉用具専門相談員の役割と 職業倫理 (1時間)	○介護保険制度における福祉用具専門相談員の位置付け と役割 ○福祉用具専門相談員の仕事内容 ○職業倫理
2 介護保険制度等に関する基礎知識		
〈講義〉	(1) 介護保険制度等の考え方と仕 組み (2時間)	○介護保険制度等の目的と仕組み ○地域包括ケアの考え方
〈講義〉	(2) 介護サービスにおける視点 (2時間)	○人権と尊厳の保持 ○ケアマネジメントの考え方
3 高齢者と介護・医療に関する基礎知識		
〈講義〉	(1) からだとこころの理解 (6時間)	○加齢に伴う心身機能の変化の特徴 ○認知症の理解と対応
〈講義〉	(2) リハビリテーション (2時間)	○リハビリテーションの基礎知識 ○リハビリテーションにおける福祉用具の役割
〈講義〉	(3) 高齢者の日常生活の理解 (2時間)	○日常生活について ○基本的動作や日常生活動作 (ADL) の考え方
〈講義〉	(4) 介護技術 (4時間)	○日常生活動作 (ADL) における基本的な介護技術
〈講義〉	(5) 住環境と住宅改修 (2時間)	○高齢者の住まい ○住環境の整備 ○介護保険制度における住宅改修

科目の内容を分けた場合は、枝番を付け、科目名称及び内容についても違いが分かるように記載すること。

4 個別の福祉用具に関する知識・技術		
〈講義〉	(1)① 福祉用具の特徴 (起居、移動、移乗関連用具) (4時間)	○起居、移動、移乗関連の福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた起居、移動、移乗関連の福祉用具の特徴
〈講義〉	(1)② 福祉用具の特徴 (排泄、入浴、食事、更衣等関連用具) (4時間)	○排泄、入浴、食事、更衣等関連の福祉用具の種類、機能及び構造 ○基本的動作と日常の生活場面に応じた排泄、入浴、食事、更衣等関連の福祉用具の特徴
〈演習〉	(2)① 福祉用具の活用 (起居、移動、移乗関連用具) (4時間)	○起居、移動、移乗関連の福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた起居、移動、移乗関連の福祉用具の利用方法
〈演習〉	(2)② 福祉用具の活用 (排泄、入浴、食事、更衣等関連用具) (4時間)	○排泄、入浴、食事、更衣等関連の福祉用具の選定・適合技術 ○高齢者の状態像に応じた排泄、入浴、食事、更衣等関連の福祉用具の利用方法
5 福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識		
〈講義〉	(1) 福祉用具の供給の仕組み (2時間)	○福祉用具の供給の流れ ○福祉用具の整備方法
〈講義〉	(2) 福祉用具貸与計画等の意義と活用 (5時間)	○福祉用具による支援の手順の考え方 ○福祉用具貸与計画等の意義と目的 ○福祉用具貸与計画等の記載内容 ○福祉用具貸与計画等の活用方法 ○モニタリングの意義と方法
6 福祉用具の利用の支援に関する総合演習 (5時間)		
〈演習〉	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成 (5時間)	○事例演習
合計		(50時間)

合計時間は、50時間以上とすること。

※ 「3(1) からだところの理解」、「3(4) 介護技術」、「4(1) 福祉用具の特徴」、「4(2) 福祉用具の活用」、「5(2) 福祉用具貸与計画等の意義と活用」の科目については、内容を分けて講義・演習を行うことができるものとする。内容を分けた場合の時間数については、30分を下限として設定すること。

その際には、枝番を付番することとし、内容欄に枝番ごとの内容及び時間数を記載すること。